

平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 和弘食品株式会社

コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和山 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼経理部長 (氏名) 中島 康二

TEL 0134-62-0505

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,897		136		142		87	
23年3月期第2四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	10.73	
23年3月期第2四半期		

(注)23年3月期は決算期の変更により、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間となっております。このため、前年同四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
24年3月期第2四半期	5,166		3,940		76.3	
23年3月期	4,896		3,850		78.6	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,940百万円 23年3月期 3,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		0.00		0.00
24年3月期		0.00				
24年3月期(予想)				5.00		5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,561		160		175		90		10.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)23年3月期は決算期の変更により、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間となっております。このため、24年3月の業績予想における対前期増減率について記載しておりません。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	9,493,193 株	23年3月期	9,493,193 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

24年3月期2Q	1,304,222 株	23年3月期	1,303,322 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,189,119 株	23年3月期2Q	株
----------	-------------	----------	---

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等についてはP. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表等	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）セグメント情報等	9
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
（7）重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によって寸断されたサプライチェーンが予想以上に早く復旧し、新興国経済の好調などを背景に、企業活動もある程度持ち直しました。しかしながら、電力不足や震災被災地の復興作業の遅れなどに、歴史的な円高や欧州の金融・財政危機、米国の景気後退など外的なマイナス要素が加わり、景気は、盛り上がり欠けた状況で推移いたしました。

食品業界では、震災で被災した原材料・包装資材メーカーの生産拠点が復旧し、生産活動は、ほぼ回復いたしました。しかし、消費者の低価格志向が定着するなか、震災による自粛ムードは、一段落したものの、食中毒事件や昨年の猛暑による需要の反動減、さらに、牛肉・農作物などの放射能汚染で消費者の買い控えが起きるなどの悪影響もあり、消費は、力強さを欠き、原油や原材料価格が高止まりするなか、食品メーカーにとっては、厳しい環境が続きました。

こうした状況のもと、当社におきましては、全社的に生産性や業務品質を向上すべく、組織の活性化、業務の改善に取り組んでまいりました。生産部門においては、引き続き、品質向上とコスト低減の両立を図り、競争力を強化すべく、カイゼンプロジェクト活動や社員の教育・研修などに積極的な取り組みを行いました。また、営業部門におきましても、お客様満足度の向上を図るべく、営業社員のスキルアップを目的とする教育・研修などに取り組むと同時に、商品開発部門、生産部門との連携を強化し、お客様のオーダーメイド商品のスピーディーで的確な開発、少量・多品種・短納期対応に注力しつつ、厳しい競争環境のなか、食品メーカーや中食・外食企業向けの提案型営業活動などに積極的に取り組み、売上と利益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、中食・外食関連の主要得意先の堅調に加えて、東日本大震災による影響で減少を予想した東北地方の売上も前年を上回って推移し、2,897百万円となりました。一方、利益につきましては、高止まりしたボイラー用の重油や原材料費のコスト上昇などの影響を受け、営業利益は136百万円、経常利益は142百万円、四半期純利益は87百万円となりました。

なお、前事業年度は決算期変更に伴い3ヶ月決算であり四半期決算を行っていないため、前第2四半期累計期間との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産合計は5,166百万円となり、前事業年度末に比べ269百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による売上高の増加に伴い、売掛金が193百万円増加したことと、土地が54百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,225百万円となり、前事業年度末に比べ180百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による生産高の増加により買掛金が96百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は3,940百万円となり、前事業年度末に比べ89百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益87百万円による利益剰余金の増加によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、前事業年度末と比べ467百万円減少し、909百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果得られた資金は、250百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益155百万と仕入債務の増加96百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果使用した資金は、708百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出550百万円、有形固定資産の取得による支出128百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果使用した資金は、9百万円となりました。これはリース債務の返済による支払9百万円によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成23年5月9日付「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表した平成24年3月期における第2四半期累計の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成23年11月7日に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当該予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があることをご留意ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,376,998	1,459,170
受取手形及び売掛金	796,595	978,726
商品及び製品	219,638	199,313
仕掛品	13,693	13,844
原材料及び貯蔵品	191,558	188,432
その他	110,761	89,383
貸倒引当金	1,500	1,199
流動資産合計	2,707,745	2,927,672
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	856,712	838,721
機械及び装置(純額)	294,007	280,414
土地	581,179	636,142
その他(純額)	219,205	229,476
有形固定資産合計	1,951,105	1,984,754
無形固定資産	8,586	17,619
投資その他の資産	228,762	235,998
固定資産合計	2,188,453	2,238,372
資産合計	4,896,199	5,166,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	484,328	581,296
未払法人税等	4,263	65,132
賞与引当金	64,000	91,000
その他	290,008	294,846
流動負債合計	842,600	1,032,274
固定負債		
役員退職慰労引当金	113,544	93,192
その他	89,655	100,465
固定負債合計	203,199	193,657
負債合計	1,045,799	1,225,932

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,376,644	1,376,644
利益剰余金	1,284,554	1,372,445
自己株式	232,092	232,261
株主資本合計	3,842,903	3,930,624
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,495	9,488
評価・換算差額等合計	7,495	9,488
純資産合計	3,850,399	3,940,112
負債純資産合計	4,896,199	5,166,044

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,897,615
売上原価	2,179,333
売上総利益	718,281
販売費及び一般管理費	581,458
営業利益	136,823
営業外収益	
受取利息	172
受取配当金	1,638
受取賃貸料	2,554
その他	2,498
営業外収益合計	6,864
営業外費用	
支払利息	986
保険解約損	437
その他	0
営業外費用合計	1,425
経常利益	142,262
特別利益	
固定資産売却益	14,733
特別利益合計	14,733
特別損失	
固定資産除却損	186
投資有価証券評価損	637
ゴルフ会員権評価損	811
特別損失合計	1,634
税引前四半期純利益	155,360
法人税、住民税及び事業税	59,878
法人税等調整額	7,591
法人税等合計	67,470
四半期純利益	87,890

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	155,360
減価償却費	103,082
賞与引当金の増減額(は減少)	30,828
貸倒引当金の増減額(は減少)	51
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,828
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	20,351
受取利息及び受取配当金	1,811
支払利息	986
有形固定資産除却損	186
有形固定資産売却損益(は益)	14,733
投資その他の資産評価損	1,448
売上債権の増減額(は増加)	182,380
たな卸資産の増減額(は増加)	23,300
仕入債務の増減額(は減少)	96,967
未払金の増減額(は減少)	11,778
その他	37,721
小計	252,160
利息及び配当金の受取額	1,178
利息の支払額	986
法人税等の支払額	2,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	550,000
有形固定資産の取得による支出	128,000
無形固定資産の取得による支出	8,217
投資有価証券の取得による支出	600
投資その他の資産の増減額(は増加)	21,514
長期貸付金の回収による収入	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	708,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	9,581
自己株式の取得による支出	169
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,750
現金及び現金同等物の期首残高	1,376,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	909,170

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。